

整理番号	46-5	事務事業名	(青少年健全育成事業) 北広島市PTA連合会補助事業	作成部署	生涯学習部 青少年課	電話	内線607
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 山内平一郎	課長職名	川原一志	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S.51年	根拠法令等	北広島市教育関係団体補助金等交付規則				
〃終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市内各单位PTAの交流と研修を目的に北広島市PTA連合会が設立されたため、補助制度を整備した。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化を育むまち	(第4章)
	節	社会教育	(第3節)
	施策	青少年の健全育成	(第6施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市内の単位PTA(16団体、児童生徒数5,515名)	
	意図(何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	各学校の単位PTAの連絡調整及び情報交換を図るとともに保護者を対象とした研修会等を通じ、児童生徒の育成を主とした団体活動の支援を目的とする。	
手段(ここから活動指標を導きます)	16年度	活動の内容 1.市P連活動交流会の開催 2.石P連母親研修会の開催 3.市P連研究大会の開催 4.石P連ブロック単P会長会議の開催 5.道P連、石P連研究会等への参加	6.日P連北海道ブロック大会への参加
	17年度	同上	

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	514	482	393	393
	合計	514	482	393	393
人件費(概算)	人数(年間)	0.01	0.01	0.01	0.01
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= x	90	90	90	90
総事業費 +		604	572	483	483

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	市P連研修会議等開催回数	17	24	17	17
	石P連研修会議等開催回数	11	11	11	11
	道P連研修会議等開催回数	3	2	2	2
	日P連研修会議等開催回数		4		
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	参加延べ人数(人)	581	612	600	600
	[児童生徒数](人)	6,056	5,548	5,515	5,515
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	児童生徒1人当たりコスト(単位:円)	100	94	80	80
	(事業費/児童生徒数)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	情報・科学技術の進展などによって社会がめまぐるしく変化しており、児童生徒の取り巻く環境は複雑多様化し、様々な問題が発生しており、また家庭教育・地域教育力の低下が指摘されているが、各学校区で組織化されたPTA活動は、学校(先生)と家庭(保護者)が一体となって青少年の健全育成を教育的な配慮の基に実践している社会教育関係団体である。各単位PTAが連携・連動して児童生徒の健全な成長と人格の育成を目指し、地域の安全・安心の教育環境を構築していく牽引力となっていることから、継続的な支援が必要である。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	PTAの組織活動の支援は、市が支援すべき事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	PTAの事業は、児童生徒及び保護者を対象とし、学校と連動した健全育成に大きく寄与している。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	PTAは、全市的な規模で組織化され、その活動内容も教育・育成を主眼とした専門的な機能を有し、その運営活動も緊密な連携の基に行われている。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	児童生徒に対する保護者の義務・責任、教育的指導のあり方など、研修会・講演会・グループワーキングの自主開催を実践し、学校・家庭・関係機関への意識啓発の向上と実効力のある地域活動に努めている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率的 かなり非効率的	毎年度の事業計画報告書を基に活動内容を検証し、事業の協働性、企画、効果性等について連携協議を深め、実践に活かしている。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市P連は、社会の要請や児童生徒の動向に配慮した柔軟な事業を実施しており、行政と協働し、家庭の教育力を高めることができる団体と位置付けている。なお、近年、人が孤立化し、人と人との関係が希薄となってきていることから、きめ細かな地域間のネットワークを構築していく必要がある。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	児童・生徒の健全育成において家庭・学校・地域の連携がますます重要となっており、PTA活動の果たす役割は大きく、PTA連合会への支援を現状のまま継続していく。 なお、補助金については事業費補助への転換を図ること。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	46-5
------	------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市PTA連合会補助事業		
交付先の名称及び代表者名	北広島市PTA連合会 会長 櫻井芳信	設立年	昭和51年
構成員(団体)数	PTA16団体 会員数4,482名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	各学校の単位PTAの連絡調整を図り、教育の振興に寄与する。		
交付先団体等の活動内容	1.市P連活動交流会の開催 2.石P連母親研修会の開催 3.市P連研究大会の開催 4.石P連ブロック単P会長会議の開催 5.道P連、石P連研究会等への参加 6.通学路・教育環境整備の要望		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	514,000	482,000	393,000	
	会費	1,030,666	1,009,736	1,003,730	
	諸収入	60,001	10,001	5	
	繰越金	4,181	26,920	39,675	
	収 入 合 計(B)	1,608,848	1,528,657	1,436,410	
支 出	旅費	20,000	20,000	20,000	
	負担金	605,941	593,636	590,105	
	会議費	56,140	59,770	40,000	
	活動費	884,105	802,100	765,000	
	事務費	15,742	13,476	15,000	
	その他(雑費)	0	0	5,000	
	予備費	0	0	1,305	
	支 出 合 計(C)	1,581,928	1,488,982	1,436,410	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	26,920	39,675	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		32 %	32 %	27 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		研修費、旅費、負担金 会議費、活動費、事務費	研修費、旅費、負担金 会議費、活動費、事務費	研修費、旅費、負担金 会議費、活動費、事務費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		1,581,928	1,488,982	1,435,105	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		32 %	32 %	27 %	
補助・交付金の算出根拠		定額(15年度 514千円、16年度 482千円、17年度 393千円)			